

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- **BLACK BORDERS**
- **TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- **FADED TEXT**
- **ILLEGIBLE TEXT**
- **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- **COLORED PHOTOS**
- **BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS**
- **GRAY SCALE DOCUMENTS**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

K. Okamoto
7/10/01
Q 65347
10f1

JC997 U.S. PTO
09/900891
07/10/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日

Date of Application:

2000年 7月14日

出願番号

Application Number:

特願2000-214863

出願人

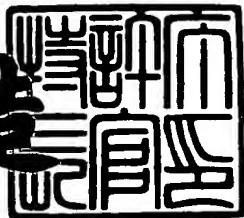
Applicant(s):

日本電気株式会社

2001年 4月 6日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3027879

【書類名】 特許願
 【整理番号】 68200309
 【あて先】 特許庁長官殿
 【国際特許分類】 G06F 17/60
 G06F 19/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目7番1号 日
 本電気株式会社内

【氏名】 岡本 克郎

【特許出願人】

【識別番号】 000004237
 【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

【識別番号】 100082935
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 京本 直樹
 【電話番号】 03-3454-1111

【選任した代理人】

【識別番号】 100082924
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 福田 修一
 【電話番号】 03-3454-1111

【選任した代理人】

【識別番号】 100085268
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 河合 信明
 【電話番号】 03-3454-1111

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008279

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9115699

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 健康管理システム、健康管理方法および健康管理用プログラムを記録した記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 プロバイダーが使用する健康管理データベースサーバと、医療機関が使用する健康管理データ参照ビューワーと、前記医療機関の顧客が使用する在宅健康管理端末と、前記健康管理データベースサーバと前記健康管理データ参照ビューワーと前記在宅健康管理端末とを相互に接続するインターネットとを備え、前記健康管理データベースサーバは、バイタル情報データベースと情報提供データベースとを有し、前記医療機関からデータベース管理業務を受注して前記顧客の個人データを登録する手段と、前記在宅健康管理端末から送信されたバイタル情報を前記バイタル情報データベースに登録する手段と、前記健康管理データ参照ビューワーから送信されたコメントを前記情報提供データベースに登録する手段と、データベース管理費用を算出して前記医療機関に費用請求を行う手段とを含み、前記健康管理データ参照ビューワーは、前記バイタル情報データベースを参照する手段と、前記バイタル情報データベースの前記顧客に関するバイタル情報に対するコメントを前記健康管理データベースサーバに送信する手段とを含み、前記在宅健康管理端末は、前記顧客のバイタル情報を前記健康管理データベースサーバに送信する手段と、前記情報提供データベースを参照する手段とを含むことを特徴とする健康管理システム。

【請求項2】 プロバイダーが使用する健康管理データベースサーバと、健康サービス事業者が使用する健康管理データ参照ビューワーと、前記健康サービス事業者の顧客が使用する在宅健康管理端末と、前記健康管理データベースサーバと前記健康管理データ参照ビューワーと前記在宅健康管理端末とを相互に接続するインターネットとを備え、前記健康管理データベースサーバは、バイタル情報データベースと情報提供データベースとを有し、前記健康サービス事業者からデータベース管理業務を受注して前記顧客の個人データを登録する手段と、前記在宅健康管理端末から送信されたバイタル情報を前記バイタル情報データベースに登録する手段と、前記健康管理データ参照ビューワーから送信されたコメント

を前記情報提供データベースに登録する手段と、データベース管理費用を算出して前記健康サービス事業者に費用請求を行う手段とを含み、前記健康管理データ参照ビューウーは、前記バイタル情報データベースを参照する手段と、前記バイタル情報データベースの前記顧客に関するバイタル情報に対するコメントを前記健康管理データベースサーバに送信する手段とを含み、前記在宅健康管理端末は、前記顧客のバイタル情報を前記健康管理データベースサーバに送信する手段と、前記情報提供データベースを参照する手段とを含むことを特徴とする健康管理システム。

【請求項3】 プロバイダーが使用する健康管理データベースサーバと、医療機関が使用する健康管理データ参照ビューウーと、健康サービス事業者が使用する健康管理データ参照ビューウーと、前記医療機関または前記健康サービス事業者の顧客が使用する在宅健康管理端末と、前記健康管理データベースサーバと前記健康管理データ参照ビューウーと前記在宅健康管理端末とを相互に接続するインターネットとを備え、前記健康管理データベースサーバは、バイタル情報データベースと情報提供データベースとを有し、前記医療機関または前記健康サービス事業者からデータベース管理業務を受注して前記顧客の個人データを登録する手段と、前記在宅健康管理端末から送信されたバイタル情報を前記バイタル情報データベースに登録する手段と、前記健康管理データ参照ビューウーから送信されたコメントを前記情報提供データベースに登録する手段と、データベース管理費用を算出して前記医療機関または前記健康サービス事業者に費用請求を行う手段とを含み、前記健康管理データ参照ビューウーは、前記バイタル情報データベースを参照する手段と、前記バイタル情報データベースの前記顧客に関するバイタル情報に対するコメントを前記健康管理データベースサーバに送信する手段とを含み、前記在宅健康管理端末は、前記顧客のバイタル情報を前記健康管理データベースサーバに送信する手段と、前記情報提供データベースを参照する手段とを含むことを特徴とする健康管理システム。

【請求項4】 さらに、前記健康管理データベースサーバは、健康関連情報データベースを有し、前記健康管理データ参照ビューウーは、前記健康関連情報データベース内の情報のうち、前記顧客にアドバイス情報として提供する情報を

前記情報提供データベースに登録することを前記健康管理データベースサーバに要求する手段を含むことを特徴とする請求項1、2または3記載の健康管理システム。

【請求項5】 前記健康管理データベースサーバは、前記情報提供データベースを前記顧客別のデータベースとしアクセス権を個別に設定する手段を含むことを特徴とする請求項1、2、3または4記載の健康管理システム。

【請求項6】 さらに、前記インターネットに接続された特定個人端末を備え、前記健康管理データベースサーバは、前記情報提供データベースのうち特定の顧客のデータベースへのアクセス権を前記特定個人端末に与える手段を含み、前記特定個人端末は、アクセス権を与えられたデータベースを参照する手段を含むことを特徴とする請求項5記載の健康管理システム。

【請求項7】 前記プロバイダーがインターネット・サービス・プロバイダーであることを特徴とする請求項1、2、3、4、5または6記載の健康管理システム。

【請求項8】 健康管理データベースサーバが医療機関または健康サービス事業者からデータベース管理業務を受注して前記医療機関または前記健康サービス事業者の顧客の個人データを登録するステップと、前記顧客のバイタル情報を在宅健康管理端末からインターネット経由で前記健康管理データベースサーバに送信するステップと、送信された前記バイタル情報を前記健康管理データベースサーバのバイタル情報データベースに登録するステップと、前記医療機関または前記健康サービス事業者の健康管理データ参照ビューワーが前記インターネット経由で前記バイタル情報データベースを参照するステップと、前記顧客に関するバイタル情報に対するコメントを前記健康管理データ参照ビューワーから前記インターネット経由で前記健康管理データベースサーバに送信するステップと、送信された前記コメントを前記健康管理データベースサーバの情報提供データベースに登録するステップと、前記在宅健康管理端末が前記情報提供データベースを前記インターネット経由で参照するステップと、前記健康管理データベースサーバがデータベース管理費用を算出して前記医療機関または前記健康サービス事業者に費用請求を行うステップとを含むことを特徴とする健康管理方法。

【請求項9】 さらに、前記健康管理データ参照ビューワーが、前記健康管理データベースサーバの健康関連情報データベース内の情報のうち、前記顧客にアドバイス情報として提供する情報を前記情報提供データベースに登録することを前記インターネット経由で前記健康管理データベースサーバに要求するステップを含むことを特徴とする請求項8記載の健康管理方法。

【請求項10】 さらに、前記健康管理データベースサーバが、前記情報提供データベースを前記顧客別のデータベースとしアクセス権を個別に設定するステップを含むことを特徴とする請求項8または9記載の健康管理方法。

【請求項11】 さらに、前記健康管理データベースサーバが、前記情報提供データベースのうち特定の顧客のデータベースへのアクセス権を特定個人端末に与えるステップと、前記特定個人端末が、アクセス権を与えられたデータベースを参照するステップとを含むことを特徴とする請求項10記載の健康管理方法。

【請求項12】 インターネットを介して、医療機関または健康サービス事業者が使用する健康管理データ参照ビューワーと、前記医療機関または前記健康サービス事業者の顧客が使用する在宅健康管理端末と、相互に接続され、バイタル情報データベースと情報提供データベースとを有し、前記医療機関または前記健康サービス事業者からデータベース管理業務を受注して前記顧客の個人データを登録する手段と、前記在宅健康管理端末から送信されたバイタル情報を前記バイタル情報データベースに登録する手段と、前記健康管理データ参照ビューワーから送信されたコメントを前記情報提供データベースに登録する手段と、データベース管理費用を算出して前記医療機関または前記健康サービス事業者に費用請求を行う手段とを含むことを特徴とする健康管理データベースサーバ。

【請求項13】 さらに、健康関連情報データベースを有し、前記健康管理データ参照ビューワーが、前記健康関連情報データベース内の情報のうち、前記顧客にアドバイス情報として提供する情報を前記情報提供データベースに登録する手段を含むことを特徴とする請求項12記載の健康管理データベースサーバ。

【請求項14】 前記情報提供データベースを前記顧客別のデータベースとしアクセス権を個別に設定する手段を含むことを特徴とする請求項12または1

3記載の健康管理データベースサーバ。

【請求項15】 さらに、前記情報提供データベースのうち特定の顧客のデータベースへのアクセス権を、前記インターネットに接続された特定個人端末に与える手段を含むことを特徴とする請求項14記載の健康管理データベースサーバ。

【請求項16】 インターネット・サービス・プロバイダーが使用することを特徴とする請求項12、13、14または15記載の健康管理データベースサーバ。

【請求項17】 医療機関または健康サービス事業者からデータベース管理業務を受注して前記医療機関または前記健康サービス事業者の顧客の個人データを登録する処理と、前記顧客が使用する在宅健康管理端末からインターネット経由で送信されたバイタル情報をバイタル情報データベースに登録する処理と、前記医療機関または前記健康サービス事業者が使用する健康管理データ参照ビューウーからインターネット経由で送信されたコメントを情報提供データベースに登録する処理と、データベース管理費用を算出して前記医療機関または前記健康サービス事業者に費用請求を行う処理とをサーバに実行させるためのプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【請求項18】 さらに、前記健康管理データ参照ビューウーが、健康関連情報データベース内の情報のうち、前記顧客にアドバイス情報として提供する情報を前記情報提供データベースに登録する処理をサーバに実行させるためのプログラムを記録したことを特徴とする請求項17記載の記録媒体。

【請求項19】 前記情報提供データベースを前記顧客別のデータベースとしアクセス権を個別に設定する処理をサーバに実行させるためのプログラムを記録したことを特徴とする請求項18記載の記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は健康管理システム、健康管理方法および健康管理用プログラムを記録した記録媒体に関し、特に、家庭における日常の生活習慣を改善するため、毎日

の健康状態を管理し、改善指導及びその効果を把握する健康管理システム、健康管理方法および健康管理用プログラムを記録した記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

生活習慣病患者の増加に伴って、家庭における日常の生活習慣を改善するため、毎日の健康状態を管理し、改善指導及びその効果を把握する在宅健康管理システム等が利用されている。本システムは従来、医療機関や健康サービス事業者に健康管理データベースサーバを設置し自病院への通院患者や契約したクライアントの家庭へ在宅健康管理端末を設置、毎日の健康情報やバイタルサインを収集し、そのデータを診断して、必要であれば電話、簡単なコメント送信機能を利用してアドバイスを行ってきた。

【0003】

このように、従来のビジネス方法は、医療機関や健康サービス事業者が個別にデータベースサーバを構築し、参照用ビューワー接続には専用回線を引いて、データベースサーバと直接通信する方式が行われていた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

上述した従来の健康管理システムでは、医療機関や健康サービス事業者がサーバシステムやクライアントを自前で構築しなければならず、管理対象人数に関わらず、相当の設備投資が必要であるという問題点があった。

【0005】

また、個人客がこのデータベースにアクセスするためには、回線費用や専用ソフト等が必要となるため、非常に投資・運用費用がかかり容易には実現できなかった。

【0006】

本発明の目的は、医療機関、健康サービス事業者等にとって、初期の設備投資が少なく済み、また、システム運用・保守要員の負担等が軽減され、家庭側にとつては、通信料金等の運用コストの低減と専門医や良質な健康サービス事業者の選択が可能となる健康管理システム、健康管理方法および健康管理用プログラム

を記録した記録媒体を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明の健康管理システムは、プロバイダーが使用する健康管理データベースサーバと、医療機関が使用する健康管理データ参照ビューワーと、前記医療機関の顧客が使用する在宅健康管理端末と、前記健康管理データベースサーバと前記健康管理データ参照ビューワーと前記在宅健康管理端末とを相互に接続するインターネットとを備え、前記健康管理データベースサーバは、バイタル情報データベースと情報提供データベースとを有し、前記医療機関からデータベース管理業務を受注して前記顧客の個人データを登録する手段と、前記在宅健康管理端末から送信されたバイタル情報を前記バイタル情報データベースに登録する手段と、前記健康管理データ参照ビューワーから送信されたコメントを前記情報提供データベースに登録する手段と、データベース管理費用を算出して前記医療機関に費用請求を行う手段とを含み、前記健康管理データ参照ビューワーは、前記バイタル情報データベースを参照する手段と、前記バイタル情報データベースの前記顧客に関するバイタル情報に対するコメントを前記健康管理データベースサーバに送信する手段とを含み、前記在宅健康管理端末は、前記顧客のバイタル情報を前記健康管理データベースサーバに送信する手段と、前記情報提供データベースを参照する手段とを含むことを特徴とする。

【0008】

本発明の健康管理システムは、プロバイダーが使用する健康管理データベースサーバと、健康サービス事業者が使用する健康管理データ参照ビューワーと、前記健康サービス事業者の顧客が使用する在宅健康管理端末と、前記健康管理データベースサーバと前記健康管理データ参照ビューワーと前記在宅健康管理端末とを相互に接続するインターネットとを備え、前記健康管理データベースサーバは、バイタル情報データベースと情報提供データベースとを有し、前記健康サービス事業者からデータベース管理業務を受注して前記顧客の個人データを登録する手段と、前記在宅健康管理端末から送信されたバイタル情報を前記バイタル情報データベースに登録する手段と、前記健康管理データ参照ビューワーから送信さ

れたコメントを前記情報提供データベースに登録する手段と、データベース管理費用を算出して前記健康サービス事業者に費用請求を行う手段とを含み、前記健康管理データ参照ビューワーは、前記バイタル情報データベースを参照する手段と、前記バイタル情報データベースの前記顧客に関するバイタル情報に対するコメントを前記健康管理データベースサーバに送信する手段とを含み、前記在宅健康管理端末は、前記顧客のバイタル情報を前記健康管理データベースサーバに送信する手段と、前記情報提供データベースを参照する手段とを含むことを特徴としてもよい。

【0009】

本発明の健康管理システムは、プロバイダーが使用する健康管理データベースサーバと、医療機関が使用する健康管理データ参照ビューワーと、健康サービス事業者が使用する健康管理データ参照ビューワーと、前記医療機関または前記健康サービス事業者の顧客が使用する在宅健康管理端末と、前記健康管理データベースサーバと前記健康管理データ参照ビューワーと前記在宅健康管理端末とを相互に接続するインターネットとを備え、前記健康管理データベースサーバは、バイタル情報データベースと情報提供データベースとを有し、前記医療機関または前記健康サービス事業者からデータベース管理業務を受注して前記顧客の個人データを登録する手段と、前記在宅健康管理端末から送信されたバイタル情報を前記バイタル情報データベースに登録する手段と、前記健康管理データ参照ビューワーから送信されたコメントを前記情報提供データベースに登録する手段と、データベース管理費用を算出して前記医療機関または前記健康サービス事業者に費用請求を行う手段とを含み、前記健康管理データ参照ビューワーは、前記バイタル情報データベースを参照する手段と、前記バイタル情報データベースの前記顧客に関するバイタル情報に対するコメントを前記健康管理データベースサーバに送信する手段とを含み、前記在宅健康管理端末は、前記顧客のバイタル情報を前記健康管理データベースサーバに送信する手段と、前記情報提供データベースを参照する手段とを含むことを特徴としてもよい。

【0010】

本発明の健康管理システムは、さらに、前記健康管理データベースサーバは、

健康関連情報データベースを有し、前記健康管理データ参照ビューワーは、前記健康関連情報データベース内の情報のうち、前記顧客にアドバイス情報として提供する情報を前記情報提供データベースに登録することを前記健康管理データベースサーバに要求する手段を含むことを特徴としてもよい。

【0011】

本発明の健康管理システムは、前記健康管理データベースサーバは、前記情報提供データベースを前記顧客別のデータベースとしアクセス権を個別に設定する手段を含むことを特徴としてもよい。

【0012】

本発明の健康管理システムは、さらに、前記インターネットに接続された特定個人端末を備え、前記健康管理データベースサーバは、前記情報提供データベースのうち特定の顧客のデータベースへのアクセス権を前記特定個人端末に与える手段を含み、前記特定個人端末は、アクセス権を与えられたデータベースを参照する手段を含むことを特徴としてもよい。

【0013】

本発明の健康管理システムは、前記プロバイダーがインターネット・サービス・プロバイダーであることを特徴としてもよい。

【0014】

本発明の健康管理方法は、健康管理データベースサーバが医療機関または健康サービス事業者からデータベース管理業務を受注して前記医療機関または前記健康サービス事業者の顧客の個人データを登録するステップと、前記顧客のバイタル情報を在宅健康管理端末からインターネット経由で前記健康管理データベースサーバに送信するステップと、送信された前記バイタル情報を前記健康管理データベースサーバのバイタル情報データベースに登録するステップと、前記医療機関または前記健康サービス事業者の健康管理データ参照ビューワーが前記インターネット経由で前記バイタル情報データベースを参照するステップと、前記顧客に関するバイタル情報に対するコメントを前記健康管理データ参照ビューワーから前記インターネット経由で前記健康管理データベースサーバに送信するステップと、送信された前記コメントを前記健康管理データベースサーバの情報提供デ

ータベースに登録するステップと、前記在宅健康管理端末が前記情報提供データベースを前記インターネット経由で参照するステップと、前記健康管理データベースサーバがデータベース管理費用を算出して前記医療機関または前記健康サービス事業者に費用請求を行うステップとを含むことを特徴とする。

【0015】

本発明の健康管理方法は、さらに、前記健康管理データ参照ビューワーが、前記健康管理データベースサーバの健康関連情報データベース内の情報のうち、前記顧客にアドバイス情報として提供する情報を前記情報提供データベースに登録することを前記インターネット経由で前記健康管理データベースサーバに要求するステップを含むことを特徴としてもよい。

【0016】

本発明の健康管理方法は、さらに、前記健康管理データベースサーバが、前記情報提供データベースを前記顧客別のデータベースとしアクセス権を個別に設定するステップを含むことを特徴としてもよい。

【0017】

本発明の健康管理方法は、さらに、前記健康管理データベースサーバが、前記情報提供データベースのうち特定の顧客のデータベースへのアクセス権を特定個人端末に与えるステップと、前記特定個人端末が、アクセス権を与えられたデータベースを参照するステップとを含むことを特徴としてもよい。

【0018】

本発明の健康管理データベースサーバは、インターネットを介して、医療機関または健康サービス事業者が使用する健康管理データ参照ビューワーと、前記医療機関または前記健康サービス事業者の顧客が使用する在宅健康管理端末と、相互に接続され、バイタル情報データベースと情報提供データベースとを有し、前記医療機関または前記健康サービス事業者からデータベース管理業務を受注して前記顧客の個人データを登録する手段と、前記在宅健康管理端末から送信されたバイタル情報を前記バイタル情報データベースに登録する手段と、前記健康管理データ参照ビューワーから送信されたコメントを前記情報提供データベースに登録する手段と、データベース管理費用を算出して前記医療機関または前記健康サ

ービス事業者に費用請求を行う手段とを含むことを特徴とする。

【0019】

本発明の健康管理データベースサーバは、さらに、健康関連情報データベースを有し、前記健康管理データ参照ビューワーが、前記健康関連情報データベース内の情報のうち、前記顧客にアドバイス情報として提供する情報を前記情報提供データベースに登録する手段を含むことを特徴してもよい。

【0020】

本発明の健康管理データベースサーバは、前記情報提供データベースを前記顧客別のデータベースとしアクセス権を個別に設定する手段を含むことを特徴としてもよい。

【0021】

本発明の健康管理データベースサーバは、さらに、前記情報提供データベースのうち特定の顧客のデータベースへのアクセス権を、前記インターネットに接続された特定個人端末に与える手段を含むことを特徴としてもよい。

【0022】

本発明の健康管理データベースサーバは、インターネット・サービス・プロバイダーが使用することを特徴としてもよい。

【0023】

本発明の記録媒体は、医療機関または健康サービス事業者からデータベース管理業務を受注して前記医療機関または前記健康サービス事業者の顧客の個人データを登録する処理と、前記顧客が使用する在宅健康管理端末からインターネット経由で送信されたバイタル情報をバイタル情報データベースに登録する処理と、前記医療機関または前記健康サービス事業者が使用する健康管理データ参照ビューワーからインターネット経由で送信されたコメントを情報提供データベースに登録する処理と、データベース管理費用を算出して前記医療機関または前記健康サービス事業者に費用請求を行う処理とをサーバに実行させるためのプログラムを記録したことを特徴とする。

【0024】

本発明の記録媒体は、さらに、前記健康管理データ参照ビューワーが、健康関

連情報データベース内の情報のうち、前記顧客にアドバイス情報として提供する情報を前記情報提供データベースに登録する処理をサーバに実行させるためのプログラムを記録したことを特徴としてもよい。

【0025】

本発明の記録媒体は、前記情報提供データベースを前記顧客別のデータベースとしアクセス権を個別に設定する処理をサーバに実行させるためのプログラムを記録したことを特徴としてもよい。

【0026】

【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。図1は本発明の第1の実施の形態の構成を示すブロック図である。

【0027】

第1の実施の形態は、健康管理データベースサーバ20と、健康管理データ参照ビューワー30と、健康管理データ参照ビューワー40と、在宅健康管理端末50と、特定個人端末60と、これらを相互に接続するインターネット10とから構成されている。

【0028】

健康管理データベースサーバ20は、ASP (application service provider) であるプロバイダー2が使用する情報処理装置であり、その内部または外部に、健康関連情報データベース21とバイタル情報データベース22と情報提供データベース23を有する。健康管理データベースサーバ20は、データベース管理業務を受注して顧客の個人データを登録し、データベースのアクセス権を設定する機能と、データ保管費用を算出して費用請求を行う機能とを有する。

【0029】

健康管理データ参照ビューワー30は、医療機関3が使用するパーソナルコンピュータであり、キーボード等の入力装置31と、データを一時保管するための記憶装置32と、ディスプレイ33やプリンタ34等の出力装置を有する。医療機関3は、自分の患者に関するバイタル情報データベース22にアクセス権を与えられ、そのデータを健康管理データ参照ビューワー30を使用して参照するこ

とができる。また、そのデータに基いた診断、アドバイスや健康関連情報データベース21内にコンテンツとして用意された健康関連等の情報を健康管理データ参照ビューウー30を使用して各患者毎の情報提供データベース23へ登録するよう健康管理データベースサーバ20に依頼する。

【0030】

健康管理データ参照ビューウー40は健康サービス事業者4が使用するパーソナルコンピュータであり、キーボード等の入力装置41と、データを一時保管するための記憶装置42と、ディスプレイ43やプリンタ44等の出力装置を有する。医療機関3は、自社のクライアントに関するバイタル情報データベース22にアクセス権を与えられ、そのデータを健康管理データ参照ビューウー40を使用して参照することができる。また、そのデータに基いた診断、アドバイスや健康関連情報データベース21内にコンテンツとして用意された健康関連等の情報を健康管理データ参照ビューウー40を使用して各クライアント毎の情報提供データベース23へ登録するよう健康管理データベースサーバ20に依頼する。

【0031】

在宅健康管理端末50は、顧客5、すなわち、医療機関3の患者または健康サービス事業者4のクライアントが使用する専用端末であり、ディスプレイ53を有し、血圧測定、心電図測定、問診回答等が入力できるようになっている。このディスプレイ53は画面表示やデータ入力を操作するためのタッチパネルとしても使用される。在宅健康管理端末50は、患者またはクライアントが毎日測定する、バイタルサインや問診の回答等をプロバイダー2のバイタル情報データベース22へ登録依頼する機能と、情報提供データベース23を参照する機能とを有する。在宅健康管理端末50は専用端末に限定されるものではなく、血圧計や心電図計のデータを入力する機能があれば、一般のパーソナルコンピュータでもよい。

【0032】

特定個人端末60は、特定個人6が使用するパーソナルコンピュータである。キーボード等の入力装置61とディスプレイ63とを有する。特定個人6とは、患者またはクライアントの健康状態をチェックする必要のある個人であり、一般

には、家族等の近親者である。情報提供データベース23へのアクセス権を与えられ、遠隔地に住む親等の健康状態を特定個人端末60を使用して参照することができる。

【0033】

このように、プロバイダー2は、医療機関3または健康サービス事業者4からデータベース管理をアウトソーシング事業として受託し、毎日提供されるバイタル情報と情報提供のデータベース管理および健康指導情報等のコンテンツ使用等で継続的な収入を得る。データベースへのアクセス権が与えられた医療機関3または健康サービス事業者4が自分の患者やクライアントのデータを参照でき、そのデータに基いた診断、アドバイスやプロバイダー2内にコンテンツとして用意された健康関連等の情報を各患者、クライアント毎の情報提供データベース23へ登録することで、家庭側は在宅健康管理端末50を通して適切なアドバイスを受けることが可能となる。

【0034】

図1には、医療機関3と健康サービス事業者4とを記載しているが、どちらか一方だけでもよい。

【0035】

ISP (internet service provider) が本実施の形態のプロバイダー2の業務を行う形態をとると、インターネット接続料の収入が得られ、さらに有利なビジネス形態となる。

【0036】

次に、動作について図1、図2を参照して説明する。図2は第1の実施の形態の動作を示すフローチャートである。

【0037】

まず、医療機関3と健康サービス事業者4は通院患者や契約したクライアントから収集する日々のバイタル情報等（バイタルデータ、問診回答等）に関するデータベースの管理業務を外部のプロバイダー2に委託し（ステップS1）、プロバイダー2はこれを受注し、顧客5の個人データを健康管理データベースサーバ20に登録し、データベースへのアクセス権を設定する（ステップS2）。顧客

5の個人データとは、顧客5すなわち患者またはクライアントの氏名、ユーザID (identification)、パスワード等である。さらに、必要に応じて特定個人6の個人データも登録する。

【0038】

顧客5の各家庭に設置された在宅健康管理端末50からは、住民が毎日測定する、バイタルサインや問診の回答等が、毎日、インターネット10を経由してプロバイダー2の健康管理データベースサーバ20へ送信され（ステップS3）、健康管理データベースサーバ20はバイタル情報データベース22に登録する（ステップS4）。

【0039】

医療機関3や健康サービス事業者4は健康管理データ参照ビューワー30、40によりバイタル情報データベース22を参照する（ステップS5）。医療機関3や健康サービス事業者4は、参照したデータに基づき、対象者に対する適切な診断、日常の生活指導、健康指導等をコメント作成し、健康管理データベースサーバ20へ送信し（ステップS6）、健康管理データベースサーバ20は情報提供データベース23に登録する（ステップS7）。医療機関3や健康サービス事業者4は、その他、食事指導や運動処方、リハビリ等既製のコンテンツとして健康関連情報データベース21内に用意された情報を利用する場合には、その情報も併せて情報提供データベース23に登録依頼し、個人向けのアドバイスとして利用する。必要に応じて、問診項目や測定項目の変更等、顧客5の健康状態に応じた高度なカスタマイズを健康管理データ参照ビューワー30、40から行う。

【0040】

顧客5は、医療機関3や健康サービス事業者4のコメントやアドバイスを見る場合は、在宅健康管理端末50から情報提供データベース23を参照し、ディスプレイ53に表示する（ステップS8）。情報提供データベース23は顧客5別のデータベースとなっており、顧客5単位に個別にアクセス権が設定されているので、自分に提供された情報のみを見ることができる。

【0041】

図2には記載していないが、特定個人6は、特定個人端末60を利用して、遠

隔地に住む親等の健康状態をいつでも参照することができる。

【0042】

健康管理データベースサーバ20は、一定期間毎に保管費用を算出し、健康管理データ参照ビューワー30、40に保管費用請求を送信する（ステップS7）。医療機関3、健康サービス事業者4は金融機関等を経由してプロバイダーに費用支払いを行う。保管費用は、データベース保管料及び提供用コンテンツ利用料、データベースアクセス料等を含み、たとえば、患者、クライアント1人当たり定額とする方式、データベースアクセス回数に比例させる方式等、あらかじめ定めた方式に従って算出する。

【0043】

健康管理データベースサーバ20は、さらに、顧客5の健康情報やサマリー結果、所見などを記載した月次レポートを作成する。この月次レポートは顧客5へ郵送またはファクシミリで送付される。在宅健康管理端末50へ送信し、在宅健康管理端末50にプリンタを備えて印刷出力するようにしてもよい。

【0044】

次に、本発明の第2の実施の形態について説明する。

【0045】

図3は第2の実施の形態を示す全体構成図である。図3を参照すると、第2の実施の形態は、図1で説明した第1の実施の形態の構成に加えて記録媒体70を含む。記録媒体70は、健康管理用プログラムを記録している。この記録媒体70は、磁気ディスク、半導体メモリ、光ディスク、その他の記録媒体であってよい。

【0046】

健康管理用プログラムは記録媒体70から健康管理データベースサーバ20に読み込まれ、第1の実施の形態における健康管理データベースサーバ20の処理と同様の処理を行わせる。

【0047】

すなわち、医療機関3または健康サービス事業者4からデータベース管理業務を受注して医療機関3または健康サービス事業者4の顧客5の個人データを登録

する処理と、顧客5が使用する在宅健康管理端末50からインターネット10経由で送信されたバイタル情報をバイタル情報データベース22に登録する処理と、医療機関3または健康サービス事業者4が使用する健康管理データ参照ビューウー30、40からインターネット10経由で送信されたコメントを情報提供データベース23に登録する処理と、データベース管理費用を算出して医療機関3または健康サービス事業者4に費用請求を行う処理とを健康管理データベースサーバ20に実行させる。

【0048】

さらに、健康管理データ参照ビューウー30、40が、健康関連情報データベース21内の情報のうち、顧客5にアドバイス情報として提供する情報を情報提供データベース23に登録する処理を健康管理データベースサーバ20に実行させる。

【0049】

さらに、情報提供データベース23を顧客5別のデータベースとしアクセス権を個別に設定する処理を健康管理データベースサーバ20に実行させる。

【0050】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、医療機関、健康サービス事業者は患者やクライアントの健康管理データベースのためのサーバを自前で保有する必要がなくなるため、初期の設備投資も少なく済み、また、システム運用・保守要員、保守委託のための費用負担等が軽減するという効果がある。

【0051】

また、医療機関や健康サービス事業者と、患者やクライアントの家庭が遠く離れている場合でも、最寄りのアクセスポイントを通して、データ送受信が可能なので、通信料金等の運用コストの軽減が図れるという効果がある。また、家庭側にとって専門医や良質な健康サービス事業者を選択する事が可能になる。

【0052】

さらに、遠隔地に居住している自分の親兄弟・親戚等の健康状況を、特定個人端末により他の地域からも参照できるという効果がある。このことは、プロバイ

ダーにとっては、医療機関や健康サービス事業者とのビジネス展開だけではなく個人客までビジネス対象を拡大できるという効果がある。

【0053】

さらに、プロバイダーは、顧客の人数に応じた価格設定を取るため、個人、少人数の要望や医療機関等の支援のない顧客にも対応でき販売ターゲットが拡がり、しかも、継続的な収入が得られるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】

第1の実施の形態の構成を示すブロック図である。

【図2】

第1の実施の形態の動作を示すフローチャートである。

【図3】

第2の実施の形態の構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

- 2 プロバイダー
- 3 医療機関
- 4 サービス事業者
- 5 顧客
- 6 特定個人
- 10 インターネット
- 20 健康管理データベースサーバ
- 21 健康関連情報データベース
- 22 バイタル情報データベース
- 23 情報提供データベース
- 30 健康管理データ参照ビューワー
- 31 入力装置
- 32 記憶装置
- 33 ディスプレイ
- 34 プリンタ

4 0 健康管理データ参照ビューワー

4 1 入力装置

4 2 記憶装置

4 3 ディスプレイ

4 4 プリンタ

5 0 在宅健康管理端末

5 3 ディスプレイ

6 0 特定個人端末

6 1 入力装置

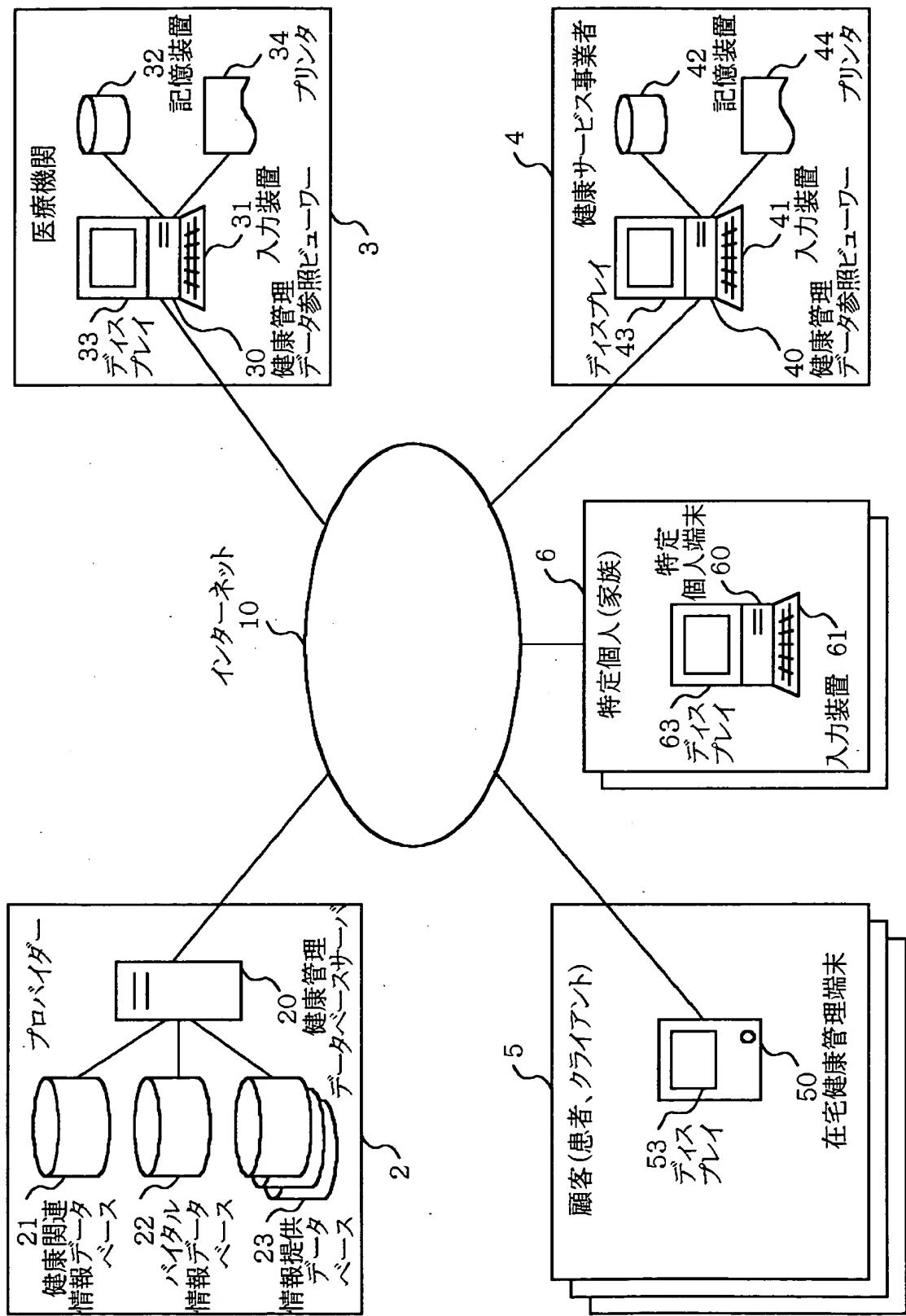
6 3 ディスプレイ

7 0 記録媒体

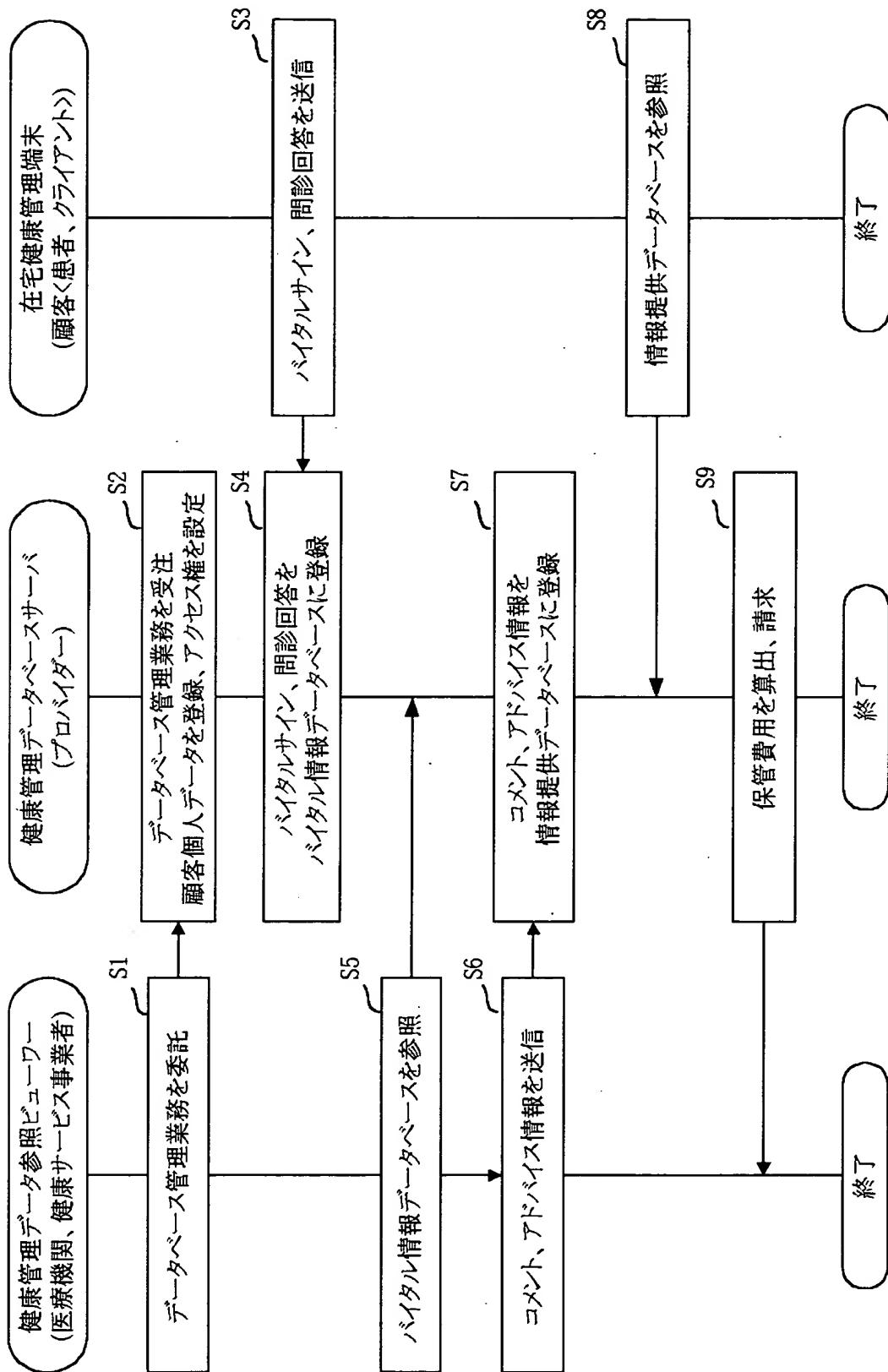
【書類名】

図面

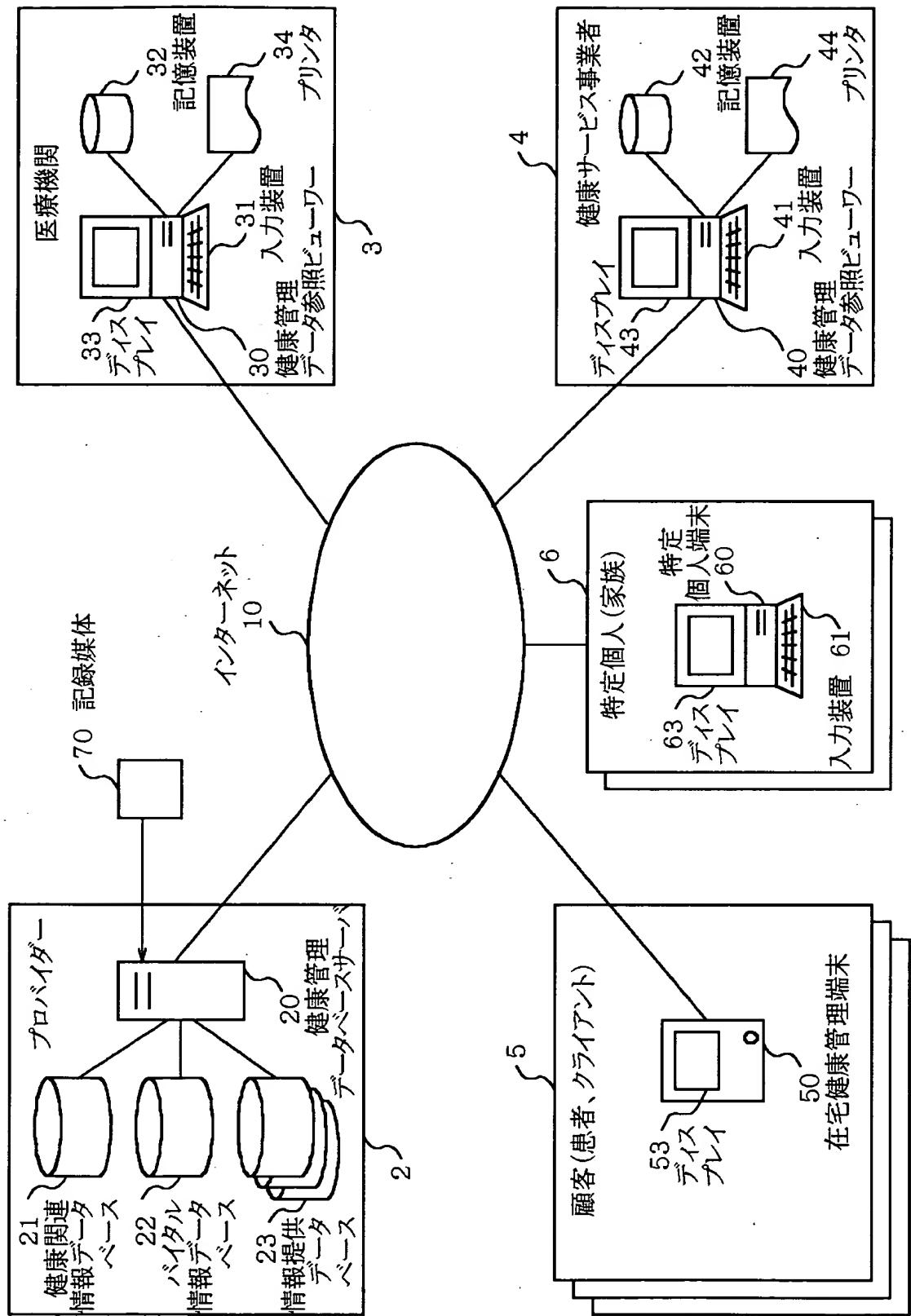
【図1】



【図2】



【図3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 在宅健康管理システムの、初期の設備投資および、システム運用・保守要員の負担を軽減する。

【解決手段】 顧客5は在宅健康管理端末50からバイタルサインや問診回答をバイタル情報データベース22に登録する。医療機関3や健康サービス事業者4は健康管理データ参照ビューワー30、40によりバイタル情報データベース22を参照してコメントを作成し、情報提供データベース23に登録する。健康関連情報データベース21内の既製のコンテンツをアドバイス情報として利用する場合には、併せて登録する。顧客5は在宅健康管理端末50から情報提供データベース23のコメントやアドバイスを参照する。特定個人6は、特定個人端末60で遠隔地の親等の健康状態を参照する。健康管理データベースサーバ20は保管費用を算出し、医療機関3と健康サービス事業者4に費用請求する。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-214863
受付番号	50000895433
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成12年 7月17日

＜認定情報・付加情報＞

【提出日】 平成12年 7月14日

次頁無

出願人履歴情報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日 1990年 8月29日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名 日本電気株式会社